

知るとうれしい リハビリニュース

～リハビリテーション技師の役割～



[リハビリテーション科]

清々しい五月晴れが快い季節となりました。

福西会病院リハビリテーション科では新年度、4名の新入職員が入職しました。

若さと活気に満ち溢れた新人を迎え、リハビリテーション室はますます賑わっております。

さて、今回はリハビリテーションでよく耳にする「PT」(ピーティー)、「OT」(オーティー)、「ST」(エスティー)について
お話ししたいと思います。

リハビリテーションの専門職にはPT＝理学療法士、OT＝作業療法士、ST＝言語聴覚士があります。当院にもこれらの資格をもった専門職が43名在籍しています。また、病院だけでなく介護を必要とする施設等に勤務する療法士もいますし、精神科領域や小児科領域に勤務する療法士もいます。リハビリテーション専門職は幅広い領域で活躍しています。

PT、OT、STはそれぞれ仕事内容や特徴が異なります。当院で働くPT、OT、STを例にお話しします。

PT

理学療法士

まず、PT「理学療法士」は、起立や歩行など基本動作と呼ばれる運動機能の改善を行っていきます。

病気やケガによって体が動きにくくなった患者さんが、少しずつ元の体に戻れるよう運動指導を行います。



OT

作業療法士

次に、OT「作業療法士」は、さまざまな道具を使い、作業活動を通して日常生活動作の改善を行っていきます。

食事、排せつ、更衣、整容、入浴など、生活に困らないよう動作指導を行います。



ST

言語聴覚士

最後に、ST「言語聴覚士」は、コミュニケーション能力の向上や手段の獲得、食事の際の嚥下(飲み込み)機能の改善を行っていきます。

言葉の訓練だけでなく、嚥下機能も評価し、食べやすい食事形態を指導します。



このように、リハビリテーション専門職は心身ともに何らかの障害を持った方々が、再び元の生活に戻れるように、また、障害があっても自立した生活が送れるよう支援していくお仕事です。